

キラッ! 新採職員です!



女子編

7月号に引き続き、平成26年度新規採用職員に抱負や意気込みを語っていただきました。

皆さまのご期待に添えられるようまい進してまいりますので、よろしくお願いたします。



総務課庶務係
長友 増美

総務課に配属されてからあっという間に4か月が過ぎましたが、まだまだ勉強の毎日です。少しでも早くお役に立てるよう、自分にできることから一生懸命やっていきたいと思ひます。



観光交流課観光戦略係
土屋 智恵

観光交流課に配属され、テレビや写真の撮影の受け入れを主に担当しています。まだわからないことが多いですが、たくさんの方に下田に来てもらえるよう頑張ります。



福祉事務所社会福祉係
菊池 裕莉愛

短大で福祉を学んできたので福祉事務所に配属となり、とても嬉しく思っています。まだまだ勉強の毎日ですが、向上心と笑顔を忘れずに一生懸命仕事をしていきたいです。



市民保健課市民係
笹本 麻衣

住民票や戸籍の管理を中心に窓口を担当しています。いらっしゃる方々一人ひとりに丁寧に対応することが大切なのだと感じています。より市民の皆さまの力になれるよう頑張ります。



総務課秘書広報係
栗原 茉李

スケジュール管理や行事予定等を担当しています。秘書の業務を通して多くの方にお会いする機会があり、常に笑顔を忘れずに何事も自分らしく頑張っていきたいと思ひます。

強い色、はっきりした色を示すことが必要です。下田の最大の魅力である「海」をも一度しっかりと組み立て、

「美sea海」楽sea海「美味sea海」seaあわせのまち・下田「こんなキャッチフレーズいかがでしょうか。」
下田市長 楠山 俊介

快国 航路



下田の夏、真つ盛りです。主役は「海」です。見る、食べる、遊ぶを満喫できる、まさに「るるる」の海です。下田の魅力は多種多様、一年を通して楽しめます。しかし、とすれば「沢山有る」は「何も無い」になります。同円を沢山描いて多様な色を塗ってみてください。近くで見るとカラフルでバラエティ豊かでとても美しいです。しかし、遠目で見ると、淡くはつきりしないものに見えます。私たちの下田はこの状況にあるのではと危惧します。訪れていただければ、まちの良さを充分感じていただければ、来訪者の生活している首都圏等各地から見ると、観光地として訪れようと強く思わせる「色」が見えないのかもしれない。

発信することで下田への求心力を高めていきたいと考えます。それが下田市観光まちづくり推進計画での「世界一の海づくりプロジェクト」です。まちづくりですので、時代に合わせながらハード・ソフト両面の整備充実をしていかなければなりません。まず第一弾として、いつ来ても何度来ても楽しめる海づくりとして「体験とその達人」をテーマに「しくもん」のプロジェクトを展開しております。「しくもん」とは、下田の「しく」海の「Sea」門・入口の「もん」人・者の「もん」をイメージした造語で、私が命名しました。詳しい内容はホームページをご覧ください。関係者様はもとより市民の皆様から人々の交流、商品の開発、キャラクターへと拡大し、情報発信により誘客増加へと展開していくことを期待しております。

みんなで楽しく元気な笑顔。いきいき会話もはずみます。



地域の縁側みつけた!

地域で光る、「大賀茂ほたる便健康教室」を紹介しします

縁側でほのぼの 懐かしい光景?

ひと昔前までは、地域の人々が気軽に集う場所がありました。お年寄り達は、誰からともなくそこに集まり、お茶を飲みながら語り合い、学校帰りの子供達に声をかけたりにしていました。そこは地域の社交場でもあり、文化伝承の場であったり、また、明日への生きる源だたりしていました。

時代は過ぎ、核家族化などに伴い地域のつながりはだいに薄れ、かつての縁側のようになみなな居場所がなくなりました。

しかし、3人に1人が高齢者という今こそ、みんなが気軽に集える居場所づくり、地域の縁側が必要です。

今回は大賀茂地区で活動を続けている、「大賀茂ほたる便健康教室」を紹介しします。

活動のきっかけ

「ほたる便健康教室」は県の地域サポート事業の一環として始まりました。女性の会会員3名と地域ボランティア3名の計6名で独居高齢者のゴミ出しのお手伝い、お話し相手、お食事の世話などを主に取り組みました。

この事業終了後、もっと楽しく、もっと地域と関わり合いを、という思いから新たな組織として始まりました。

活動内容

俳句作り、陶芸、調理実習、映画会など毎回異なったメニューでバラエティに富んだ活動をしています。

毎回みんなで歌を歌ったりおしゃべりをしたり、お茶やお菓子を楽しみにしながら、常に笑いを大切にしています。また、大賀茂小学校フェスティバルに参加して地元の若い世代の方々や、子供たちとも交流を図っています。



大賀茂ほたる便会長
前田 由美さん

「小さな灯りをつけ、はつきりと道しるべをつけるほたるのように」という意味からほたる便と名付けました。この小さな灯りが地域を明るく照らし続けられるよう願っています。

大賀茂の高齢者は、大笑いしながらエネルギーにあふれ、教室に臨んでいます。

みなさん、「健康は笑いから」ですよ!

教えてください 地域の縁側

大賀茂ほたる便健康教室のように、地域で交流している場所を知っている、または居場所づくりに興味のある方は地域包括支援センターまでご連絡ください。

問合せ先
地域包括支援センター
(窓口④) ☎2077